



那珂川町における広域化の取組事例について（中山間直払）

那珂川町では、中山間直払の第5期対策（令和2～6年度）のスタートにあたって直払に取り組む55集落を1協定にし、専任事務員を通年雇用することで、県内の中山間直払の協議会として初めて事務上の広域化をしました。これにより、協定員の事務負担が軽減されることが期待されます。

また、那珂川町では、令和2年8月に「棚田地域振興法」に基づく活動計画が国に認定されており、棚田の保全等を目的として、棚田米のブランド化や薬剤散布用ドローンの導入などに併せて取り組んでいます。



小砂地区の田園風景



ドローンによる薬剤散布

中山間直払・第5期対策の取組状況（新たに市貝町で取組がスタート）

今年度から第5期対策の取組がスタートし、県内の取組面積は、2,060ha（129ha減）、集落協定数は130協定（81協定減）となりました。

これは、高齢化によって耕作、事務手続きが負担になっていることが原因です。あわせて、事務広域化の取組も進んでおり、3町（塩谷町、市貝町、那珂川町）で実施されています。

新たな取組では、令和2年8月に中山間直払の知事特認地域の変更に伴い、市貝町が新たに事業対象地域となり、取組がスタートとしました。町内3地区（塩田、刈生田、田野辺）がまとまり、市貝町中山間地域活性化協議会として事務広域化した上で、農業生産活動等の取組が行われています。



市貝町の田野辺地区

中山間地域で行われている取組を紹介します

～中山間地域人材養成実践講座～ 広報活動プロ養成講座を開催しました！

県では、中山間地域の直売所など拠点施設において、魅力発信や効果的な広報活動等ができる人材を養成するために、「広報活動プロ養成講座」を開講しています。

今年度は、令和2年10月28日、11月4日、11月11日に開講したところ、8名が参加し、動画制作・配信の基礎から実践まで学びました。

講座では、動画の撮影方法を学びながら実際に撮影し、編集した動画を投稿するなど、実践的に情報発信に取り組みました。



●実施事業：令和2(2020)年度中山間地域人材養成実践講座

「さかがわ協議会」 第2回栃木県農業大賞受賞

さかがわ協議会(茂木町)が、第2回(令和2(2020)年度)栃木県農業大賞「農村活性化の部」で大賞(関東農政局長賞・知事賞)を受賞されました。

本協議会では、「いい里さかがわ館」を拠点として、地元農産物等を活用した特産品づくりや加工・販売、各種イベントの開催、ミツマタ群生地を活用した新たな交流人口の創出など様々な取組を実施しています。地域が主体となって活動を進めていることや、ミツマタなどの地域資源を活用した努力と創意工夫のある取組内容が特に高く評価されました。



●第2回(令和2(2020)年度)栃木県農業大賞

～日光市土呂部～ 夢大地応援団カレッジ活動を実施しました！

県では、次代を担う若い人々を対象に、農業・農村への理解を深めていただくため、「とちぎ夢大地応援団カレッジ活動」を実施しています。

今回は、令和2年10月18日と11月8日に県内の大学生と高校生が参加し、茅ボッチの作成と搬出作業を行いました。

手指の消毒やマスクの着用など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて、作業に取り組みました。



●実施事業：令和2(2020)年度とちぎ夢大地応援団推進事業

「とちぎ農村QUEST」 協働活動PR動画配信中！

県では、中山間地域における協働活動への理解促進及び地域活動への参加啓発を図るため、PR動画の制作、配信を行っています。

若者・シニア世代をメインターゲットとして、地域の課題をミッションに見立てたクエスト風動画「とちぎ農村QUEST」を制作し、YouTubeやSNS等で配信しています。

また、県内外の企業・大学向けのPR動画を制作し、協働活動の啓発に取り組んでいます。



●実施事業：令和2(2020)年度協働活動理解促進事業

今後もみなさんに地域の情報を提供していきます。
御意見、御感想をお寄せ下さい。
(連絡先) 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
栃木県農政部農村振興課
TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337
Eメール noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp



とちぎ農村QUEST
(協働活動PR動画)
を配信しています！
是非ご覧下さい。

冒険の入り口はこちら！→

